

看護師の はなし キイテミタ

厚生病院の看護職はどんな感じ？
気になることをいろいろキイテミタ！

対談
シテミタ
-nurse talk-

今回の対談メンバー

旭川厚生病院の3名



ブ チョーさん



助産師さん



に ねんめさん

■きっかけは看護師の仕事に触れて

ブ 旭川厚生病院に勤めて30年以上経ちますが、この道に進んだのは、祖母の入院時に看護師の仕事に魅力を感じたことがきっかけです。看護学校卒業後に看護師として働く傍ら、仕事の幅を広げようと6年目で助産学校に行き、助産師の資格を取得しました。その後はずっと現場で働き、2002年頃から管理職に就いています。お二人はどんなきっかけでこの仕事を選んだのですか？

助 私は子どもの頃に看護師さんに優しくしてもらった経験が大きいですね。初めは看護師を目指していましたが、授業の一つである「母性看護学実習」でお産を見て感動したことで、助産師になりたいという気持ちが強くなりました。実習4年目のギリギリのタイミングでしたが、そこから勉強を始めて助産師になり、今年で7年目になります。

に 私も幼い頃の通院経験からこの仕事を知りましたが、当時は点滴や注射を打ってみたいという好奇心が大きかったです(笑)。その後、祖母の病をきっかけに患者さんのそばでケアをしたいと思い、本格的に看護師を目指すようになりました。

ブ 実際に看護師になって点滴や注射を打ってみてどうでした？

に もちろんそんなに簡単なものではありませんでした。技術の取得までかなり先輩たちに指導していただき、今はちゃんと出来るようになりました。

■患者さんの笑顔がやがいに

助 現場では予期しないことも日常茶飯事ですが、安全にお産をして最終的にお母さんと赤ちゃんが笑顔で帰って行くのを見ると嬉しいですね。この方にとって一生のうちに何回あるか分からない大切な場面をともにしているのだと思うと、非常に貴重な体験をさせていただいていると思います。友人の出産を手掛けるなど、なかなかできない経験ができたことも嬉しかったです。助産師になった当時は、7年も経てばもっと自信を持って取り組んでいると思っていたのですが、毎回ドキドキしています。

ブ 同じお産なんてないですからね。経験を積みながらも、変に慣れてしまわないよう、毎回緊張感を持って向き合うのは大切なことだと思いますよ。

助 先輩方の姿を見ていると、やっぱりすごいなと思って。私もいつかこうなれるのかなと思いますね。

ブ 大丈夫。なれますよ！だってみんな本当に素敵でもん。私は出産から看護取りまで携わって充実した看護師生活を送りましたが、年数を重ねるうちに、自分ひとりでやるだけではダメなんだと気付いて。自分と同じようなスキルや志、優しさを持っている人がたくさんいたら、もっと病院全体がパワーアップするのではないかなと思ひ、管理職の道に進みました。ですからお二人のように素敵な人が増えてくれるのが、私のやがいにありますね。

■大切なのは「やさしい看護」

に 私はまだ勤めて2年目ですので、できないこともたくさんあります。普段は隣臓がんや胆嚢がんなどの患者さんと接することが多く、病気が見付かった時には手遅れというケースも少なくありません。いずれも進行の早い病気ですので、早急に看護方針を決める必要があります。また、終末期の方も多いため、穏やかに最期を迎えるに当たって、緩和ケア病棟に行きたいのか自宅に帰りたいのかを、チームだけでなく病棟全体で関われるように力を入れています。いざという時にどう判断してどのように動いたらいいのか、今は先輩たちの背中を見て勉強しています。

助 私たちもチームで方針を決める際には、一人ひとりのバースプランをしっかりと聞いて、希望に添えるようにしています。先輩が増えてきた今、私自身が先輩に育てていただいたように後輩のいいところを伸ばして指導しつつ、先輩や同僚のいい部分を見習いながら自分らしい看護ができるよう、日々の業務を通して技術の向上を目指しています。

ブ 私の仕事はみんなが働きやすいと感じる職場づくりをすることで、そのために大切にしているのが「やさしい看護」です。難しいことは考えず、患者さんやご家族、職員同士が優しい気持ちで相手に向き合えれば、病院全体の雰囲気も良くなりますし、みんなにとってもいいことだと思っています。

に 就職活動の際も「やさしい看護」についてお話しいただき、それが今も心に残って

います。優しい気持ちで相手に接することが結果的に自分たちの業務をスムーズにしていると思いますので、その理念は現場でも大切にしています。

ブ 嬉しいですね。そういう方に長く働き続けてもらえるよう、産後や育児休暇後にも復職できる職場環境を整えています。一カ所に負担が集中しないよう、時短勤務の方は各病棟に配置していますし、そうすることで災害時やいざという時の人材不足、病院の機能低下などのリスク回避も図っています。

■看護師を目指す人を応援したい！

に 現場では学校で教わったこと以外にも業務がたくさんあり、大変さや忙しさは感じますが、その分やりがいも大きくて日々充実しています。私はこの仕事が自分の人生のターニング

ポイントだと思うほど好きなので、目指している方がいたらぜひ応援したいです！

助 私は卒業直前の選択で助産師になりましたが、やりたいと思ったら遅くはありません。看護師や助産師、診療科選んで迷っている方は、勉強や実習に一生懸命取り組んでいれば、そのうちやりたいことが明確になってきますし、自分らしい看護師観が生まれてくると思います。現場では大変なこともあります。患者さんの笑顔を見ると、やって良かったなとさっと思はずです。

ブ 病院の一番の目的は患者さんの期待に応えられること、地域の方に愛されることです。そのために皆さんが輝きながら頑張れる職場づくりに力を入れていますので、ぜひ一緒に働きましょう。

質問
シテミタ
-nurse question-

旭川厚生病院の場合

保健師さん・助産師さん・看護師さん・
准看護師さんは何人いるの？

525人
(非常勤:48人)



※4/1時点の有資格者人数

毎年、旭川厚生病院では約30人の方が就職します。新人には病棟全体でサポートし、新人育成に力を入れています。また、ラダー認定制度があり、レベルや経験年数に応じ研修内容が変化します。働きながらスキル向上に努められる環境となっています。

男女の人数は？

33人
492人



※4/1時点の人数

現在も女性看護師は多いですが、男性看護師も増えてきています。

平均年齢は何歳？

38.1歳



※4/1時点の年齢

産後休暇後に復職し、看護師・助産師として再度働く方も増えています。また、育児で夜間働けない方は時短勤務などで、働きやすい環境を心がけています。

私たちと一緒に働きませんか？

JA北海道厚生連は看護師・助産師を募集しています。
看護の楽しさ・看護の魅力を実感しながら、私たちと一緒に働きませんか？

旭川厚生病院
看護師採用
詳細はこちら



他地域の
看護師採用
詳細はこちら



看護職の資格
取得予定の
学生の方へ

看護師
奨学金制度の
詳細はこちら



助産師
奨学金制度の
詳細はこちら

